

町民の夢、「移動サポート事業」始動！

コミュニケーションツールのひとつ

高齢者はお金を払うことによって下の世代の人たちに貢献することができ、運転する時間がとれる方も高齢者へ貢献をすることができます。一方的に支え合うのではなく、両者が助け合える環境、お互いがお互いにとって役に立ち「大事な存在だね」と言えるような、コミュニケーションのツールとして使ってもらいたいと思っています。

法令等の関係上、利用しづらい点がいろいろとあるかと思います。そういった点はどんどん私たちへお知らせください。皆さんの声を集め、各省庁へ規制緩和の提案を呼びかけ、更なる利便性を図ってまいります。

リクルートホールディングス
あいあい自動車開発責任者
金澤 一行さん



移動して人生を楽しんで、 認知症対策をしましょう

高齢者の移動が制限され、買い物にも行けず引きこもりになってしまうと、認知症が進んでしまうといわれています。車を持っていない方でも、組合に入会して車を共同所有すれば、「こまなん自動車」を利用することができます。半年間は入会金がかかりませんので、この機会にぜひお試しください。外出して人生を楽しんで、認知症の対策をしましょう。

上島町自動車管理協同組合
組合長
中林 運雄さん



ずっと待ち望んでいました

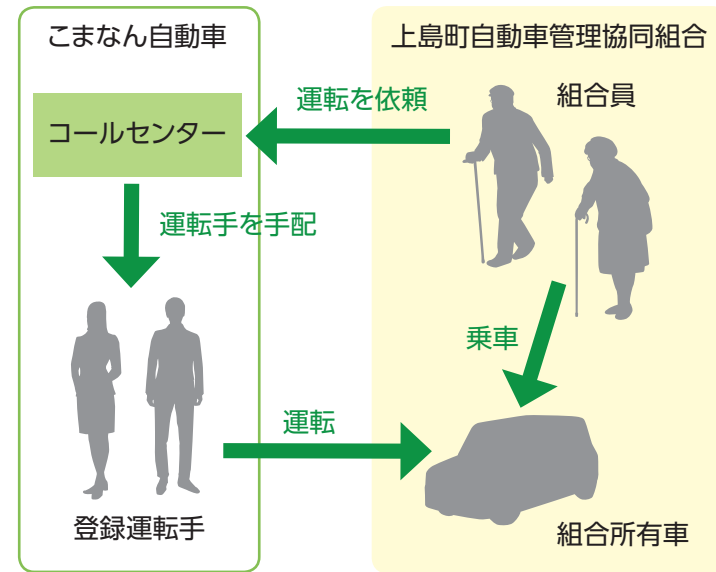
免許証も返納し、通院に町有バスを使用していますが、帰りの時間にちょうどいい便がなく、家族や知り合いにお願いして連れて帰ってもらっています。みんな快く受けてくれますが、毎度のことなので申し訳なく思っていました。

こまなん自動車なら、料金も見えているし気兼ねなくお願いできそうです。

弓削地区
川本 末子さん



移動サポート事業のしくみ



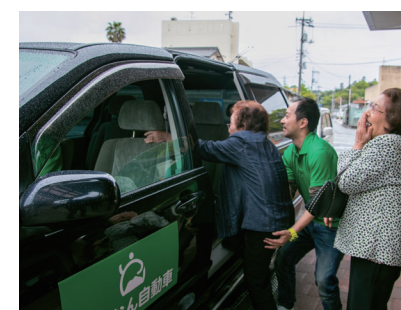
サービスを利用したい方がこまなん自動車コールセンターへ運転を依頼すると、登録運転手を手配。利用者の車を使って目的地まで運転します。サービス利用料は、15分600円。営業時間は年末年始を除く8時から19時。

また、入会半年後に入会金5000円が発生。この半年間はお試し期間とのこと。こまなん代表の白川 誉さんは「こまなん自動車だけで町の課題は全部解決しないと思っています。町有バスもあつて、福祉有償もあつて、介護タクシーもあつて、様々な選択肢が増えるというところが町の皆さんの生活を豊かにする。通院や買い物など、生活の支援はもちろん、カラオケに行ったり孫とお出かけしたりと、人生を楽しむためにも利用してもらいたいですね。」と利用



住民さんが納得のいくまで丁寧に説明をするこまなん代表白川さん。

をよびかけました。



上：上島町自動車管理協同組合所有の自動車。宮脇町長とこまなん代表白川氏が「こまなん自動車」ステッカーを貼り付け。中：組合所有2台の車が出発。下：住民さんが試乗。

町民の困ったことを調査。要望の多かったのは、高齢者の移動手段の確保だった。

4月26日（水）、生名立石港務所において、「こまなん自動車出発式」が行われました。

こまなん自動車とは、運転ができずに移動に困っている地域の方に、困っている人を支えたい地域の方を運転手としてマッチングする移動サポート事業。町内の企業困ったことはなんですか（以下、こまなん）が、リクルートホールディングスの「あいあい自動車」を活用し導入したもので、西日本初の試みとなります。

2年前から町内で要望の多かったタクシーの導入を検討していたこまなんは、コストや利用者の利便性を考えるこのシステムを導入。利用料は15分600円。